

くまさんだより

日本基督教団 豊橋東田教会
〒440-0055 愛知県豊橋市前畑町 112 ☎0532-54-3435
公式サイト <https://azumada.org/> 武井恵一牧師 080-3428-3200

2019年
12月号

12月21日発行

イラストは全て池谷陽子さんご提供

12月15日 待降節第三主日礼拝説教

「マリアの賛歌」武井 恵一牧師

ルカによる福音書1章46～55節 新約聖書101頁

ルカによる福音書1章46～55節

⁴⁶そこで、マリアは言った。⁴⁷「わたしの魂は主をあがめ、わたしの霊は救い主である神を喜びたたえます。⁴⁸身分の低い、この主のはしためにも目を留めてくださったからです。今から後、いつの世の人でもわたしを幸いな者と言うでしょう、⁴⁹力ある方が、わたしに偉大なことをなさいましたから。その御名は尊く、⁵⁰その憐れみは代々に限りなく、主を畏れる者に及びます。⁵¹主はその腕で力を振るい、思い上がる者を打ち散らし、⁵²権力ある者をその座から引き降ろし、身分の低い者を高く上げ、⁵³飢えた人を良い物で満らし、富める者を空腹のまま追い返されます。⁵⁴その僕イスラエルを受け入れて、憐れみをお忘れになりません、⁵⁵わたしたちの先祖におっしゃったとおり、アブラハムとその子孫に対してとこしえに。」

わたしたち、神様を信じ、主イエス・キリストによって福音の喜びを与えられ、洗礼を受けて永遠の命を約束されたキリスト者が一番大切にしているクリスマスがいよいよ近くなりました。

今日の聖書の言葉によってお話しいたします。

ヨセフのいいなづけ、おとめマリアに天使が遣わされました。天使から聖霊がマリアに降り、救い主を産むということを告げられ、マリアは恐れ戸惑いますが、「神にできないことは何一つない。」との天使の言葉に、マリアは、「わたし



は主のはしためです。お言葉どおり、この身になりますように。」と答えます。

この出来事の6ヶ月ほど前、親しいマリアの親戚エリザベトが既に老人の中に数えられているにもかかわらず、夫ザカリヤとの間に思ってもみなかった喜びの受胎が天使によって告げられました。それを聞いていたことも、関連していたでしょう。マリア自身に起きた天使のお告げは、マリアを、エリザベトの住む山里ユダの町に向かわせました。



マリアはエリザベトに会い挨拶をします。

エリザベトは、輝くばかりのマリアの様子を見て、きっと神様がわたしに続いて、わたしよりももっと大きな喜びと、愛の出来事をマリアに授けられたと直感しました。

マリアの声を聞いて、エリザベトは自分の胎内に宿されていた子どもが、喜び・おどったことにすぐ気づき、感動します。エリザベトの胎内の子こそ、洗礼者ヨハネとなる方です。

エリザベトに宿った胎児ヨハネが、何と！マリアが聖霊によって神様の子を体内に宿したという天使の知らせを、マリアの驚きと喜びを知り、お腹の中でおどるといふ、エリザベト自身今まで聞いたこともなかった出来事を実感したのです！

エリザベトは、マリアが神様によって子どもを宿した一神様のご計画によって子どもが与えられたと信じたのです。幾重にも神様がわたしたちを恵みの中に、愛の中に生かしてくださる、この上ない愛と喜びの出来事であると知らされました。そして、聖霊に満たされ、「主がおっしゃったことは必ず実現すると信じた方は、何と幸いですでしょう。」とエリザベトはマリアに言いました。救い主・イエス・キリストを宿したことは、マリアにとって、大きな幸いであると同時に、不安や恐れをいただいたことであつたのではないのでしょうか。しかし、マリアは、そんな不安や恐れを抱く自分を、すべて神様におゆだねしました。

エリザベトの言葉を受けて、マリアは主を高らかにほめたたえ始めます。「マリアの賛歌」と呼ばれるものです。

ルカによる福音書 1章47～48節

47「わたしの魂は主をあがめ、わたしの霊は救い主である神を喜びたたえます。48身分の低い、この主のはしためにも目を留めてくださったからです。今から後、いつの世の人もわたしを幸いな者と言うでしょう、

マリアは救い主である神様を心から信頼し

すべてをゆだねます。その時沸き上がる喜びに満たされています。神様にすべてをゆだねる時に、神様に生かされている喜びが心の底からわきあがるのをおさえきれずマリアは神をあがめたたえます。わたしたちもこの言葉で主をあがめ祈る時、喜びが与えられます。

マリアはご自分がいと小さな者であるにもかかわらず、神様が顧みて下さったことに驚きます。これ以上の幸いはあるでしょうか。とるに足りない名もない者にも、神様は慈しみをお忘れにならない方です。世の波に翻弄され、理不尽な苦しみや悩みの中にいる時、私たちがどんな状態にあっても神さまが愛して下さり、いつも、神様が私たちを見ていて下さることをマリアはこのお祈りをもって私たちにつたえます。

この祈りは主を信じる者に「永遠」に伝えられ、喜びをもたらすことでしょう。



ルカによる福音書 1章49～50節

⁴⁹力ある方が、わたしに偉大なことをなさいましたから。その御名は尊く、⁵⁰その憐れみは代々に限りなく、主を畏れる者に及びます。

マリアは三位一体の神様を「主なる神」として全身をもってあがめ、その偉大さをすべての存在にまさる存在として、「力ある方」と呼びます

しかも、神様の愛と憐れみが、主なる神を信じ、従うものだけではなく、未だ神様を知るに至らなくても、神様を恐れ、心をかたむけるすべての者にまで及ぼされると証します。

マリア自身が、神様の恵みに招かれているだけでなく、時代を超え、すべての人に及んでいるという神様のみ業に対するゆるぎない信頼があります。私たちは、このように父なる神様の最大の権威と、感謝を込めて、日常の生活の中でお祈りしているのでしょうか。

ルカによる福音書 1章51節

⁵¹主はその腕で力を振るい、思い上がる者を打ち散らし、

マリアは、人間とは比べようもない大きな神様の力を知り、その力をもって思いあがるものを打ち、散らされている歴史に刻まれた神様のなさることを知っています。神様は言葉をもってすべてを支配される方であります。

「愛と柔和」をいつも求める者に与え、慰め、支えられる方でありながら、なお、自分たちの力や、自分たちの思いあがりや、意識の中の全ての思いあがりやを打ち壊されます。私たちが悪と知りつつかなわないとみる組織や、国々や、国際的な利益追求の力を無力な空騒ぎに落とし、困難や失望や、破滅の惨状を加えられます。

神様は、神様を無視し、力をもって自らを誇ろうとする者を打ち散らし、その力のすべてを無駄なものとして捨てさせ、すべての悪に基づくものを空虚な幻影に替え、意のままになさいます。マリアの神様への信頼は、そのような力をほめたたえます。

ルカによる福音書 1章52節

⁵²権力ある者をその座から引き降ろし、身分の低い者を高く上げ、

正に、現実の現代社会は、ほとんど全地域に亘って、自己中心に犯され、腐り、繁栄の為に、自分たちの安逸と余裕のために、少しでも上の立場に成り上がるために権力をもとめ、人々を押ししのけ、弱い人々を圧迫し、卑しめ、蔑んでいます。

神様は、このような自己中心で、権力と武力、悪辣な暴虐をもって高い望みを求める勢力や、団体、はては国家連合を砕き、滅亡させ新たに希望を与えてくださいます。

神様はあなたに背く悪と虚無の存在全てを懲らしめ、あなたを信じ、あなたに従い、あなたによって生きるすべての存在を生かしてください。福音のすべてを信じ、より頼む人々の魂にこの神様の真実を、宿して下さい。まだあなたを知らず、あなたの福音に出会う機会を持たない者をも招き、神の愛と、喜びに生かされる者へと高く上げ進ませてください。



ルカによる福音書 1章53～55節

⁵³ 飢えた人を良い物で満たし、富める者を空腹のまま追い返されます。⁵⁴ その僕イスラエルを受け入れて、憐れみをお忘れになりません、⁵⁵ わたしたちの先祖におっしゃったとおり、アブラハムとその子孫に対してとこしえに。」

飢えている人たち、良いとは言えない食事で苦しんでいる人たち、更に困窮や、病気や、様々な事情によって生きていく将来が見えない人々を救ってくださいます。今、世界は富と貧困の格差が大きいといわれますが、神様はここに厳しい裁きの手を下されます。

マリアの賛歌は、マリアの神様にすべてをゆだねる信仰をもって、この世を覆う悪に対してすでに勝利しておられる神様を賛美しています。いと小さきマリアであるからこそ、その信仰により神様の真実に迫り、ほとぼしるような祈りとなったことでしょう。マリアの祈りは、神様へのゆるぎない信頼により、人間の研究や

理解すべてを凌駕し、神学をも乗り超えて、神様の「計り知れない、何物とも、比較できない、すべてを超えた存在」を高らかに歌い上げています。

神、全能の父が行われた神様の大きな計画にこそ根源と、喜びと、すべてを超える「勝利」があることを、マリアの祈りは私たちに示してくださいました。マリアの祈りを祈る者とならせてください。どうか、父なる神様、わたしたちの主イエス・キリスト、聖霊なる神様により頼み、福音の真理を、真実を、この世の人々に伝え、周りの人々に呼びかけ、心から招き、共にあなたの支配のもとに生きる者とならせてください。

祈り 讃美歌(21) 175 「わが心は」

聖書の言葉はすべて以下から引用しています。
 聖書 新共同訳：
 (c) 共同訳聖書実行委員会
 Executive Committee of The Common Bible Translation
 (c) 日本聖書協会
 Japan Bible Society . Tokyo 1987, 1988

聖誕の馬小屋

教会の玄関に聖誕の置物を飾っていてヨセフが杖を持っているのが不思議に思えたので調べてみました。

聖書外典「ヤコブ福音書」には、マリアの結婚相手を選んだ時にヨセフの杖に百合の花が咲いたのでヨセフが選ばれたと書かれているそうです。

そこで、教会にある聖誕の置物ではヨセフが杖を持っていると思われます。

